

a wa mi - no - yu me
淡海の夢 企画
仰木・棚田写生会
親子写生会のお誘い



滋賀県の豊かな自然を代表するような棚田・里山の風景が、わたしたちのすぐ近くの仰木地区に広がっています。春、水をはった棚田は、水鏡のように森や空を映してとてもきれいです。夏、青々とした稲が風に波打ち、白い雲と強い日差しに輝きます。秋、9月には刈り入れ。等高線のような曲線が美しい、力強い大地があらわれます。

行くだけで心が軽くなり、しあわせな気分になれる、そんな風景をいっしょに描きませんか。ぜひ親子で参加してください！ ゆったりとした時間を過ごしましょう。
 当日は、一般向けの公開講座と合同です。中学生、高校生、大学生、一般の方などが参加されます。大人も子どもも、お互いにいい交流ができるといいなと思います。

■ 仰木・棚田写生会 要項 ■

実施日 : 別紙にてご案内いたします
【雨天中止/各自で判断をお願いいたします】
 参加形式 : 自由参加 / 受講料無料
 (1日や半日の参加も可)
 希望者には四つ切り画用紙を無料配布します。
 完成したら提出してください。
 成安造形大学ギャラリーアートサイトなどで開催する「風景展」に出品いたします。



※ 画用紙の準備と今後のご案内のために、ご登録いただけると幸いです。
【登録方法】 「棚田写生会参加」と記入し、
郵便番号・住所 氏名(ふりがな) 所属(学校名・学年)
連絡先(電話、E-Mailアドレスなど)
参加日と時間(下記のプログラム9:30集合での参加か否か)
 を記入して、下記の問い合わせ先へハガキ、FAX、E-mailにてご登録ください。
メールアドレスをお持ちの方は、できるだけE-mailでご登録ください。

プログラム : **9:30 JR堅田駅集合/17:30 堅田駅解散予定。** 本学スタッフがご案内いたします。
 *各自で行かれる場合は、プログラムと違う時間帯でご参加いただいても結構です。

■ 準備/当日の諸注意 ■

- 持ち物・服装(このプリントも必ず!)
★無料配布の4つ切り画用紙を準備します。
 画板は不要です。他の紙でもOKです。
弁当 水筒
 (近所にお店や自動販売機はありません)
写生に必要な道具
 (鉛筆・消しゴム・絵具・筆・パレット・筆洗
 筆ふき・クレヨン・色鉛筆など)
携帯用のイスまたは敷物(ビニールなど)
タオル 日よけ ウェットティッシュ
 ※ その他、必要なものを持参してください。

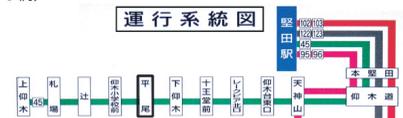
★暑さ対策は万全に!
春でも日差しは結構きついです。
日陰もほとんどありません。
体調が悪い人は無理して来てはダメ!

服装は、長袖、長ズボン、帽子など、できるだけ日に当たる部分を無くした方が疲れにくい。日焼け止めクリームも効果的!
日焼け止め、虫除け、虫さされの薬など 雨具

- ゴミは全て持ち帰りましょう。
2005年春に参加者から提案があり、「仰木の自然や農家の方、そして私たち自身のためにできること」として「ゴミのないフィールドづくり」に取り組んでいます。ゴミ袋(スーパーの袋など)持参で清掃・分別回収にご協力ください。
- 駐車場に「簡易トイレ」があります。水洗ではありません。手洗い用の水のタンクがあります。

*緊急時は、永江携帯 09015937018 まで。
 *タクシーの利用について 近江タクシー TEL:077-572-0106 (JR堅田駅~仰木棚田の駐車場下:約1500円)
 タクシーの運転手さんも、裏面の地図を見ないと場所は分かりません。地図を見せて駐車場の下まで。(帰日も予約)
 「平尾のバス停から伊香立(いかだち)線に入って大倉橋(大倉川にかかっている橋)の100mくらい先。高架の手前。」で、分かってもらえるか?

江若バス時刻表(*は土・日・祝日の時刻。他は毎日同じ)
★注意/行きは、9:43の次は12:26までありません。



45 系 統	行き(堅田駅~平尾) 「上仰木」行き 堅田駅発時刻	7:20	8:17	9:43	12:26	14:27	15:45	16:44	17:45	18:45	19:46
	帰り(平尾~堅田駅) 「堅田駅」行き 平尾発時刻	*6:57	7:44	8:41	10:07	12:50	14:51	16:09	17:08	18:09	19:09

■ 問い合わせ先 : 成安造形大学 芸術文化交流センター
 〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東 4-3-1
 TEL 077-574-2118 (直通)
 FAX 077-574-3595
 E-mail geibun@seian.ac.jp

棚田で守ってほしいマナー

私たちは、美しい棚田を守り育ててこられた農家の方々のためまめ労働に敬意をはらいます。

- 1. 地元の方たちにあいさつをしましょう。**
 棚田は生産の現場であり、その周辺は地元の方々の生活空間の一部だということを深く心に留めましょう。農作業をされている傍らで、絵を描かせていただきます。ご迷惑にならないよう各自行動し、元気のいいあいさつ「こんにちは!」のひと言を忘れずに。棚田を守り育ててこられた農家の方々に、感謝。
- 2. 畔(あぜ)には踏み入らないでください。**
 田んぼの畔や水路は、棚田の生命線です。春はまだ畔が固まっておらず、踏み崩すと我々では元に戻せません。畦道には踏み入らないでください。畦道は私道なので、許可をいただくのが基本です。春から夏は、マムシなどにも十分注意しましょう。
- 3. 単独では行動しないでください。**
 「誰かから見えるところ」を目安に、声が届く範囲で描きましょう。(万一の事故に備えて)